

DATABridge

分析と意思決定の向上を可能にする
MCP ホストデータの抽出と変換

ETL テクノロジーを活用して 意思決定の支援と データウェアハウジングを改善

ビジネスの現場では、主要な業績指標を正しく理解しながら、より正確な情報に基づいた決断をいち早く下すために、重要なビジネス情報へのアクセスが必要となります。そのビジネス情報（BI）戦略に合わせてデータベースシステムにある情報へのアクセスを可能にしている組織にとっては、セキュリティ、データ整合性、コスト、パフォーマンスはどれも最大の関心事です。

大部分の意思決定ツールや BI は、リレーショナルデータベースのみをサポートしているため、Unisys ClearPath MCP サーバーとそのノンリレーショナル DMSII データベースを使用している組織にとっては使いにくいものです。Attachmate® の DATABridge™ は、Unisys® MCP DMSII データと DMSII 以外のデータをセカンダリシステムに安全に統合する、包括的な ETL（Extract = 抽出、Transform = 変換、Load = 読み込み）ソリューションを提供することにより、解析と処理を目的としたビジネス情報へのアクセスを容易にし、同時にホストリソースの節約も実現します。

DATABridge を使用すると、生産データを Oracle®、DB2、Microsoft® SQL Server などのリレーショナルデータベースや、まったく別の Unisys ホストシステムにある DMSII データベースに簡単に統合できます。また DB2、SQLServer、Oracle 用の DATABridge クライアントは、Windows Vista™、Windows XP およ

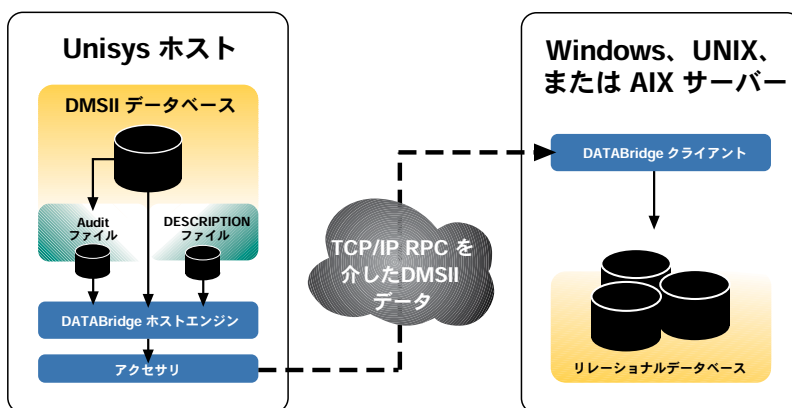
び 2003、Windows 2000 Datacenter、UNIX、AIX、Red Hat Linux を含む数々の OS 環境に対応するため、DATABridge のソリューションは既存の IT 基盤にシームレスに適合し、組織の意思決定プロセスの一本化をこれまでになく容易にします。

ETL の利点を活用すると同時に 完全な管理と制御を維持

今日の企業環境では、会社のデータにタイムリーにアクセスできることが競争上の利点獲得につながります。しかし実際には、アクセスが困難なことも頻繁にあります。MIS とメインフレームのリソースがカスタマイズされたレポートの作成に使用されると、トランザクション処理まで手が回りません。DATABridge を使用して DMSII データを SQL Server、DB2、Oracle データベースにダイナミックな形で統合すると、レポートのカスタマイズよりも簡単かつ総合的にリレーショナルデータを操作できます。

主な特長

- **NEW** リアルタイムのデータリカバリを可能にするオーディットミラーリング
- **NEW** メインフレームのリソース使用率を低減する高速ファイル転送
- DATABridge Enterprise でメインフレームのリソースを大幅削減、データクローニングと更新の効率化と高速化
- Unisys MCP データ複製を安全に自動化
- DMSII データとそれ以外のデータを、Oracle、Microsoft SQL、その他のリレーショナルデータベースとシームレスに統合
- Windows、Solaris、HP-UX、Red Hat Linux など、多様なデータベース クライアント プラットフォームに対応。



ここでは、ノンリレーショナル DMSII データベースが Windows、UNIX、AIX サーバー上でターゲットのリレーショナルデータベースにコピーされています。

DATABridge は、別個のモジュールを組み合わせて ETL 技術に対応している他のソリューションとは異なり、完全な整合性を持つオールインワンの ETL ソリューションを実現します。抽出、変換、読み込みを同時進行で行い、他のユーティリティを利用する必要もありません。直接的かつリアルタイムな DATABridge の抽出・変換アプローチは、負荷増加につながる余分なファイルを作成することはありません。

DATABridge ではデータソースとデータターゲットで詳細なフィルタリングが可能のため、データベース管理者がデータの抽出を完全に管理できます。また DATABridge はカスケードフィルタリングにも対応しているので、複数レベルでデータをフィルターできます。これにより、会社内の各グループが、必要に応じて完全にカスタマイズされたデータを受け取ることが可能となります。

DATABridge は、DMSII データベースの完全なクローンを作成したり、選定されたデータセットへのコピーを制限したり、特定のデータセット内のデータを個別の記録や項目にまで細かくフィルターすることもできます。データベースのクローンは、ユーザーが指定した間隔で更新され、変更された記録のみがアップデートされます。変更された記録のみがオリジナルのデータベースからターゲットのデータベースへ転送されるため、ホストシステムにかかる負荷を最小に抑えながら、アップデートを頻繁に実行できます。こうして作成されたデータは、レポート作成、照会、分析に利用され、企業でのより良い意思決定をサポートします。

さらに DATABridge は、イベントドリブン式の自動アップデートと、DMSII オーディットトレイルの読込・解読能力を備え、ソースとターゲットのデータベースの完全同期化を実現します。これによりコピーされたデータの整合性が保証されるため、毎日の営業終了時の DMSII 処理やその他の定期的作業とリレーショナルデータベースとの同期化に最適です。

MCP ホストデータを安全にパブリッシュ、ウェブ上で便利なアクセス

MCP ホストデータをイントラネットやエクストラネット上でパブリッシュすると、ウェブブラウザからアクセスできるようになります。DATABridge を使用して DMSII データをリ

レーショナルデータベースにコピーし、便利なウェブ上のアクセスを可能にすると、そのデータを任意のウェブパブリッシングツールでフロントエンド処理することができます。

DMSII ホストデータをウェブアクセス可能なリレーショナルデータベースへコピーし、そのアクセスを制限することにより、ホストシステムには一切触れずに、顧客、提携他社、その他の関係者に情報へのアクセスを提供できます。すなわち、ホストシステムのセキュリティは未知のユーザーから守られるわけです。

DMSII を開発システムにコピー

MCP ホストデータを開発システムにコピーすると、生産システムのトランザクション処理を保護します。開発者がアクセスするのは生産データのコピーなので、オリジナルの生産データの整合性を守ることができます。また開発者は、データベースの指定された部分だけをコピーするように DATABridge を設定し、基幹データを守ることもできます。クライアント別にデータフィルタを設定できるため、適切なデータのみが配布されることになります。

アプリケーション開発能力の向上

データをコピーすると、DMSII データをフィルタし、市販のアプリケーションで利用できる形にフォーマットできるため、アプリケーション開発プロセスの向上が可能となります。大部分のパッケージアプリケーションはリレーショナルデータベースモデルを基本としているため、DMSII データベースからリレーショナルデータベースへデータをコピーすると、操作がさらに簡単になります。

DATABridge のコンポーネントを利用したプロセスの自動化

リアルタイムデータリカバリを可能にする DATABridge オーディットミラーリング

DATABridge オーディットミラーリングは、オーディットファイル Windows プラットフォームやセカンダリ MCP ヘバックグラウンドでミラーリングし、データリカバリの時間を最小化することにより、緊急時の復旧に役立ちます。リアルタイムのデータリカバリの能力を得ることで、リカバリポイントオブジェクト (RPO) が高速化します。

システムの必要条件

- フラットファイルデータ及び Unisys MCP DMSII 対応の ETL
- Oracle、Microsoft SQL、その他のリレーショナルデータベース内のホストデータとのシームレスな統合
- データベース複製（全部または一部）サポート
- 選定フィルタリング
- イベントドリブン式の自動アップデートと通知サポート
- ダイナミックなコンフィギュレーションを持つため、変更の度にプログラムの再起動は不要
- デバッグとパフォーマンス統計の表示を目的としたトレースファイルモニタリング
- サーバーアクティビティのモニタリング
- Oracle と SQL Server Windows クライアントは、Windows 2000 Server、Advanced Server、Datacenter 対応
- Joe Joseph & Associates, Inc. との共同開発

DATABridge 付属コンポーネント

- DATABridge Host
- DATABridge Plus
- DATABridge FileXtract

DATABridge クライアントのオプション

- Windows 上の Oracle 用 DATABridge Client
- Windows 上の SQL Server 用 DATABridge Client
- HP-UX 上の Oracle 用 DATABridge Client
- SunOS 上の Oracle 用 DATABridge Client
- Linux 上の Oracle 用 DATABridge Client
- Unisys MCP Systems 用 DATABridge Twin
- Unisys MCP Systems 用 DATABridge DMSII Client
- IBM® AIX 上の Oracle 用 DATABridge Client
- IBM AIX 上の IBM DB2 用 DATABridge Client

次ページへ続く

メインフレームのリソース使用率を低減する DATABridge High Speed File Transfer (高速ファイル転送)

DATABridge High Speed File Transfer コンポーネントを利用すると、コストの削減につながります。DATABridge を介してファイルを転送するとメインフレームのリソース利用度を大きく低減できます。高速ファイル転送によって、テキスト転送、プリンター、データファイル処理による MCP 負荷が殆どなくなります。

リアルタイムのコピーパフォーマンスを 実現する DATABridge Plus

DATABridge Plus は、DMSII データベースをリアルタイムでコピーする主要なコンポーネントです。標準の DATABridge では、現在のオーディットファイルが閉じてからターゲットデータベースに DMSII データベースのアップデートが送信されます。このプロセスをスピードアップするには DATABridge Plus が最適です。DMSII オーディットファイルを閉じている瞬間を除いて継続的なデータベースのアップデートを実行し、意思決定、ウェブアクセス、その他のデータアクセスニーズに応えるために、リアルタイムのデータアクセスを可能にします。

DATABridge Plus は、ユーザーが気付かないほどのレベルで、現在のオーディットファイルを読み込み、アップデートをリレーショナルデータベースまたは複製された DMSII データベースへリアルタイムで送信します。オーディットファイルを長時間にわたり開いている場合でも、意思決定に必要なリアルタイムで正確なデータを利用できます。

DATABridge Plus は、処理するデータ量を削減し、オーディットファイルの定期的な細かいアップデートを行うことでシステムへの負荷を軽減します。アップデートのプロセスはスムーズで、ネットワークの帯域幅にピークなどの極端な事態を発生させません。

DMSII 以外のデータコピーを実行する DATABridge FileXtract

多くの組織では、処理・解析を行うために Unisys MCP ホストから DMSII 以外のデータをコピーする能力が必要とされています。DATABridge FileXtract™ は、まさにその要求に応えるためのコンポーネントです。FileXtract はアプリケーションファイル、COMS TTrail (Communications Transaction Trails)、システムサマリログ、サポートされているその他のファイル内で、ファイルデータの解析を

可能にします。Sample Reader ライブラリでは、データファイルを Oracle、SQL Server、DB2 にコピーするように設定されています。

FileXtract は DATABridge と同様に、UNIX や Windows サーバーなどのセカンダリシステムにデータをコピーするため、生産データは外部の影響を受けません。レポート作成を容易にするために、FileXtract は Microsoft Access、Excel、Crystal Reports などの業界標準のレポート作成ツールを利用します。

効率化を実現する DATABridge Enterprise Server

DATABridge Enterprise Server (DBE) は、現在のホスト処理を Windows のサーバーに移行することで、メインフレームのリソースを大幅に節約します。DBE は、メインフレームをホストする Unisys MCP のサーバー部分、または、メインフレームディスクを可視できる別個のマシン上にインストールすることができます。DBE は、DATABridge ホストとユーザー選定による DATABridge クライアントの間に位置し、クライアントシステムにデータを送信する前にすべてのホスト関連の処理と I/O オペレーションを実行します。

DBE を実装すると、ホスト負荷の削減の影響がすぐに現れ、データのクローニングとアップデートが大幅に高速化されます。DBE は、次のクライアントに向けてデータを解析する前に一度だけオーディットファイルを処理します。必要なフィルタを作成する能力により、各クライアントがそれぞれ必要なアップデートだけを受け取ることができます。直感的なグラフィカル インターフェイスにより、表示されるさまざまなソースやデータのレイアウトも簡単に理解できます。

DMSII データベース全体の ホスト間クローニングを可能にする DATABridge Twin Client

DATABridge Twin Client は、セカンダリ DMSII データベースに向けて、DMSII データベース全体の論理的ホスト間クローニングを実行します。プライマリデータベースからデータセットをコピーし、セカンダリデータベースを継続的にアップデートします。

システムの必要条件

前ページからの続き

アドオンコンポーネント:

- DATABridge Enterprise Server
- DATABridge Audit Mirroring
- DATABridge High Speed File Transfer

DATABridge ホストの必要条件

- MCP v46.1 以降をサポートする Unisys MCP System
- DMSII v46.1 以降

DATABridge Windows クライアントの必要条件

ハードウェア

- Pentium® PC (400 mHz またはそれ以上、複数の CPU 構成を推奨)
 - 512 MB RAM (1024 MB を推奨)
 - 100 MB のディスク容量 (DMSII データに必要なディスク容量とは別)
 - または -
- Unisys ES7000

オペレーティング システム

- 次のいずれか:
 - Windows Vista
 - Windows XP pro
 - Windows 2003
 - Windows 2000 Server
 - Windows 2000 Advanced Server
 - Windows 2000 Datacenter Server
- 次のいずれか:
 - Microsoft SQL Server 2005 (v9.0) SP1 または SP2
 - Microsoft SQL Server 2000 (v8.0) SP1、SP2、SP3、SP4
 - Microsoft SQL Server v7.0
 - Oracle v9i または v10g

DATABridge UNIX および Linux クライアントの必要条件

- 次のシステムのいずれか:
 - SunOS™ v5.8 以降、Oracle v9i または v10g を実行中の Sun Microsystems™ SPARCstation™

次ページへ続く

DATABridge Twin Client は、プライマリデータベースと同一のクローンデータベースを作成するため、プライマリデータベースで利用しているホストアプリケーションがセカンダリデータベースでもシームレスに利用できます。

DATABridge Twin は Windows や UNIX クライアントと同様に、クエリを多発し時間がかかるアプリケーションから生産ホストを解放したり、アプリケーションテストの促進に使用できます。

選定クローニングを実行する DATABridge DMSII Client

DMSII Client は、DMSII データベースを別の DMSII データベースにいつでも論理的クローニングできますが、1つだけ違いがあります。その違いとは、コピーやアップデートを行う際に選択的クローニングを実行し、プライマリデータベースとは異なる独自のセカンダリデータベースを作成することです。DMSII Client は、行と列のフィルタリングが可能で、プライマリデータベースを再構成した後で構成を再クローンする能力も備えています。

このクライアントを使用すると、1つのホストから複数のホストへカスタマイズされたデータを送信することができ、企業の規模にかかわらずエンドユーザーの柔軟なアクセスが可能となります。

DATABridge の実装で、BI 解析の向上とコスト削減

DATABridge は、基幹データを統合し、BI 解析の実行を可能にすることにより、組織の意思決定者を支援します。選定データをホストからリレーショナルデータベースや複数のデータベースに移行することにより、傾向を分析したり、複数の外部ソースからのデータを組み合わせたり、多様な解析を行って意思決定の基盤を作ります。

DATABridge は、UNIX や Windows システムに大量の過去のデータを保存する能力を増強します。これによりデータのストレージを開放し、ホストランザクションの処理速度を最大化します。DATABridge の基本設計概念は、大量処理の環境にも最適です。多くの類似品とは異なり、DATABridge なら何万というトランザクションとそれに続くアップデートを同時かつ容易に処理します。

DATABridge は、ビジネスのフットワークを俊敏にするために、データベース管理者と意思決定者が必要とするツールと情報を提供します。それと同時に、費用がかかるクエリと処理からもホストを解放します。

Attachmate 社について

Attachmate 社は、企業の IT 投資の拡大、管理、セキュリティ保護のお手伝いをいたします。当社は、端末エミュレーション、ホストシステムとの統合、PC ライフサイクル管理などを行う製品から、革新的なシステムやセキュリティ管理ツールまで、さまざまなソリューションを提供しております。当社の技術を利用して、世界中で 65,000 社以上のお客様が、新しく有意義な手法で IT 資産を活用しています。詳細については、www.attachmate.co.jp をご覧ください。

システムの必要条件

前ページからの続き

- HP-UX v10.x 以降、Oracle v9i または v10g を実行中の HP® 9000/700 または 800 Series マシン
- Redhat Linux, Intel platforms, v7.1, Linux kernel 2.6 以降、Oracle v9i または v10g
- AIX 5L 以降、Oracle v9i または v10g OR DB2® v8.x (8.2 を推奨) を実行中の IBM pSeries®
- 100 MB のディスク容量 (DMSII データに必要なディスク容量とは別)

DATABridge IBM AIX クライアントの必要条件

- IBM pSeries®
- 128 MB RAM (512 MB を推奨)
- DATABridge Client 用に 100 MB の空きディスク容量
- AIX 5L 以降

AIX 用 DATABridge Client for DB2 の必要条件

- IBM pSeries
- 256 MB RAM (512 MB を推奨)
- DATABridge Client 用に 100 MB の空きディスク容量
- AIX 5L 以降
- DB2® v8.x 8.2 を推奨



本社
1500 Dexter Avenue North
Seattle, Washington 98109
TEL 206 217 7500
FAX 206 217 7515

日本支社
東京
TEL 03 5909 5641
FAX 03 5909 5663

日本語 Web サイト www.attachmate.co.jp
日本語 E-mail j-info@attachmate.com

その他の海外支店については、www.attachmate.co.jp をご覧ください。

本書は情報提供のみを目的としており、予告なしに変更される場合があります。Copyright © 2007 Attachmate Corporation. All Rights Reserved. Attachmate、Attachmate ロゴおよび DATABridge は、アメリカ合衆国およびその他の国における Attachmate Corporation の登録商標または商標です。本書に記載されているその他の商標、商品名、会社名は照会の目的のみで使用されており、すべてはそれぞれの権利帰属者の所有物となります。05-0125J.0707